

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2802	アライブかながわ		株式会社アライブメディケア			H28.12.29		
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク					H29.1.19		
評価結果								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	B	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	B	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	B	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	A
1.4.1	A	B	2.4.3	B	B	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	B	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	B	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	C	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	A	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	B	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	B	A	7.5.3	A	A
2.2.5	B	B	5.1.1	C	C	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	B	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	B	B	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	B	6.1.2	B	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-5	<p>本社はスタッフ満足度調査を行い、お客様の満足度・スタッフの満足度・処遇制度への改善点やホーム運営全般等についての意見・要望を聞く機会としている。同時に、職場異動の希望も尋ね、ホーム間をまたいだ異動希望については、本社が個人別に面接を行い、異動の可・不可・その理由をフィードバックして、要望に応じている。ホーム長の方針でもある風通しの良い職場を目指して、職員間の情報共有を図るしくみとして定着している。</p>
2-3-3	<p>入居者サービスの質向上を検討する組織として、接遇・安全衛生等の6つの委員会がそれぞれの分野からサービス向上を目標とし活動している。中でも、職員の身だしなみ・言葉遣いには力を入れ、頭から足先までのホームでの身だしなみルールを、職員が目につきやすい場所に掲示して正しい身だしなみの徹底を図っている。また、入居者への呼びかけを朝礼等で唱和して間違った言葉遣いを行わないように努め、サービスの質向上を図っている。</p>
4-2-2	<p>入居者に楽しんでもらえるよう、納涼祭・歌謡コンサート・書道・脳トレ・アロママッサージなどさまざまなアクティビティが毎日実施されている。また、午前中は、お茶を飲みながら歌を歌ったりする「サロン」を開催しており、自発的に参加する入居者も増え、生活リズムが整い、閉じこもり防止にもつながっている。心身の活性化と日常生活の充実度を高めることを目指し、計画を立て、実施後は反省点を踏まえて、次回にいかしている。</p>
6-1-1	<p>施設サービス計画書にもとづいたケアの提供に重点をおき、入居者に関わる職員が、同じ方向性を持ってケアができるよう、カンファレンスを増やし、フロアごと月1回、計2回実施している。入居者や家族の意向を踏まえた自立支援の実現に向けて、介護職員に加え、生活相談員・介護支援専門相談員・看護師など多職種が介護の提供方針を共有し、連携を図ることで、入居者一人ひとりに合ったケアの提供に努めている。</p>

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-4-1	<p>本社は職員の育成計画として、入職時研修・基礎技術研修・リーダーシップ研修・ホーム長研修等を企画し、職員のキャリアアップを図っている。また、ホーム内研修として法令遵守・感染症防止・認知症ケア等の研修を行い、必要とされる知識の共有化を行っている。一方、目標設定面接の中で、個人別の研修希望等も話し合っているが、体系的な個別育成計画とはなっておらず、キャリアパスの段階に応じた育成計画体系の構築が期待される。</p>
2-1-2	<p>ホームは、本社の今年度重点目標に対応して、今年度の運営理念と重点目標を掲げ、事業運営を行っている。運営理念は「新しいホームを創造しよう」であり、重点目標は多岐にわたっている。しかしながら、介護、看護、栄養、事務、相談、ケアマネ等各部門別の目標・計画は策定されていない。重点目標達成のためにそれぞれの部門が何を行うべきか明確にして、着実な実行につなげられるよう業務部門ごとの事業計画策定が望まれる。</p>
2-4-3	<p>ホーム内の事故発生時の対応については、事故発生にたずさわった当事者がその状況原因を整理して、ヒヤリハット・事故報告を作成する。さらに、リーダー、看護師、当日の勤務者を交えて対策および再発防止策を明確にし、迅速な対応を図るようにしている。事故の情報は、職員全員で共有できてはいるが、事故予防の視点からは組織的対応となっていない。今後は、検証の機会をもつなど、事故防止への組織的な取り組みを期待したい。</p>
5-1-1	<p>食事は、おせち料理・芋煮会・桜メニュー・クリスマスメニューなど季節ごとのメニューの他に、刺身など食べたいものを取り入れ、調理形態は個別の要望を聞いて提供している。また、運営懇談会で、食事にウエイトをおき、時間をとって入居者の要望を聞き意見交換するなど、美味しい食事の提供に向けて取り組んでいる。食事は入居者にとって、楽しみの一つであり、選ぶ楽しみを味わえるよう選択メニューの導入を検討されたい。</p>